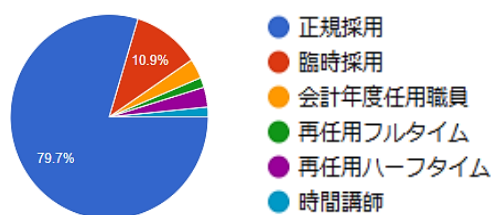


7割超が「今の勤務状況に不満」

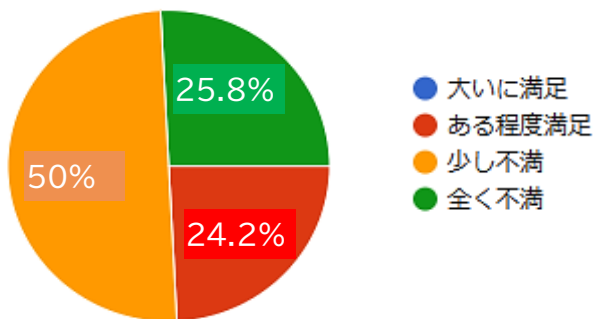
2023年度市教組(全教)アンケート
実施期間:2023.4月~5月 回答数:64件

回答者の任用の割合



ご協力ありがとうございました。

あなたは今の教員の勤務状況に満足していますか？



“愚痴も磨けば要求に”

市教組(全教)が今年度4月~5月にかけて「働き方アンケート」を実施しました。回答数は64件と決して多くはありませんが、内容はかなり切実な問題が含まれています。中でも今の勤務状況に「少し不満」50%、「全く不満」25.8%、合計で7割を超える教職員が不満を持っている状況は、危機的状況です。教職の現場が「ブラック」という実態が「ここにも見ることがができます。」

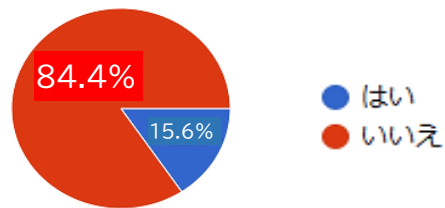
この原因がどこにあるのか具体的につかみ、要求に変えていきましょう。

“愚痴も磨けば要求に”
交渉できる団体として要求を実現していきましょう！
今回このアンケート結果をもとに、市教委交渉を9月13日に行いました。

職場の生の声を届ける重要なアンケートとなりました。今後少しでも改善するように声をあげ続けていく必要があります。

1.「働き方改革」について

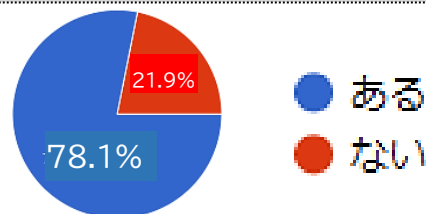
①「休憩時間」が在校等時間から除かれています、「休憩」はとれていますか？



■「いいえ」の理由

- 給食中も指導し、児童を返したら少しでも早く帰れるように、会議までに教室の片付けと明日の準備をするので、休憩なんてとったことがないです。
- 休憩時間は確保されているが、休憩時間も溜まった仕事をしないと帰宅できないため、休憩は取れていない。
- 児童が学校にいる間は休憩は取れません。
- 必ず何か職員集会や保護者対応などあります。
- 休憩時間という概念が職場には存在しない。
- 翌日の授業の準備、丸つけ、書類記入など。
- 放課後の事務仕事をこなしていると、気がつけば19時。
- 会議等で潰れることはないが、多忙感から少しでも早く仕事を進めたいので、休憩時間にも仕事を選んでしまう。
- 事務なので休憩でも、電話や来客があると対応するため。

②「持ち帰り仕事」について



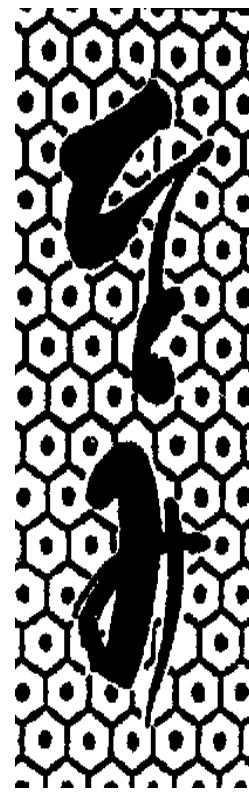
■「持ち帰り仕事」の内容

- 教材研究や学級通信の作成。校務分掌の資料づくりでほぼ毎日2時間はかかっている。
- 子どもの保育園や児童クラブの迎いの時間が決まっているため、定時までに校務、学年、学級と優先順位をつけて仕事をするようにしているが、大体校務や学年の仕事をしている途中で時間がきてしまう。学級の仕事は持ち帰り。
- 教材研究、プリントの丸付け、文書作成等1時間程度。
- 丸つけや教材研究を早朝にしています。
- 委員会の資料や教材研究等必要に応じて。
- 教材研究をしている。5時間程度。
- 次々と届く通知文を読む時間がない。自宅で読むことも多い。
- 校務分掌の仕事を基本的に在校時に行うため、学級の仕事をもち帰っている。
- 教材研究や授業作りに毎日2時間程度かかっています。



③「働き方改革」を進める上で何が必要だと思いますか？

- 少人数学級の実施と人員増。
- 教員を増やし、一人当たりの教員の負担を減らすことと、教員がなくても他でできる仕事はそちらに担ってもらうこと。
- 人材の確保。または超過勤務手当の確保。
- たくさんの提出書類を減らしたり、人を増やすこと。
- 教員委員会からの必要ない書類や、指導要録、校務分掌の中で必要のない仕事を無くすこと。
- 学級経営に直接つながらない書類仕事をなくす。
- 教員の職務整理、保護者対応含め、専門分野には校外からの在校専門家派遣。
- 各学年に一人副担任を設ける(小学校)。
- 週のうち教師1人あたりの持ち授業時数の削減、クラスの児童人数を減らす、各クラスにけが・遅刻の対応や印刷など担任をサポートする人を配置する(低学年)、児童の学校滞在時間を減らす。
- 部活の外部委託を早く進めないと若い人材は学校に就職できない。
- 勤務時間から逆算して業務量を決めて行う。



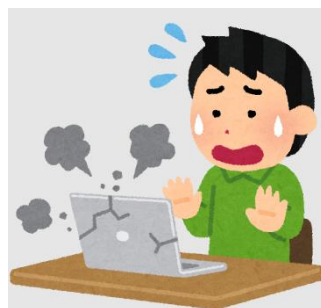
広島市教職員組合(全教)
No.10
2023.9.22
全教広島HP

◎広島市教職員組合(全教)は、あなたの願いや要望を大事にして活動します。
◎子どものこと、学校のこと、自分の子育てのことなど、一人の悩みをみんなで考えます。

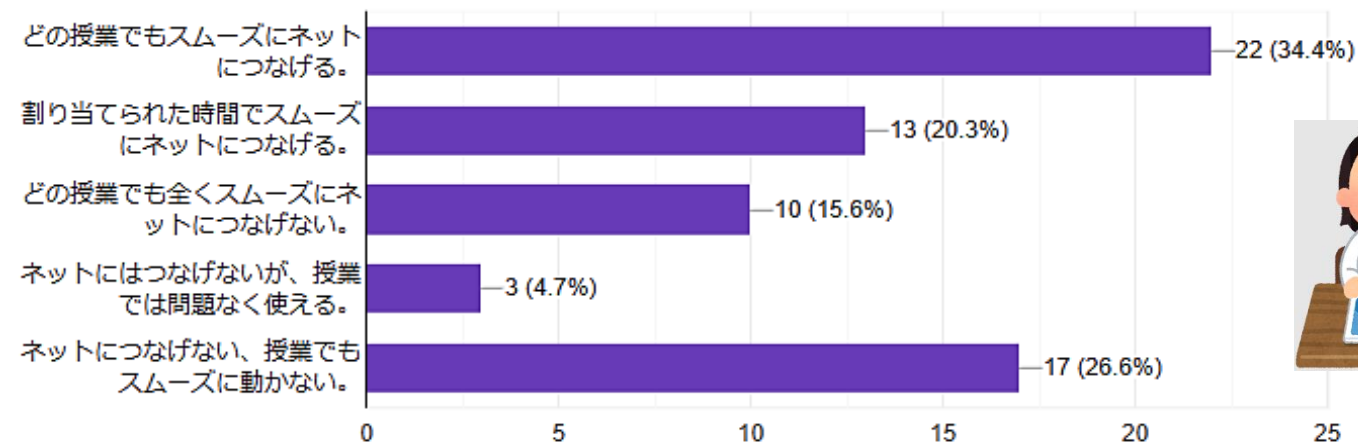
2. GIGAスクール構想にかかわり

①今年度初めのパソコンの不具合について困ったこと

- システムを変えるタイミングが悪すぎる。
- 異動してきた先生のパソコンや、プリンターが使えないので、結局急ぎの仕事はパソコンが使える人に仕事が回ってくる。パソコンが苦手な先生のフォローを優先し自分の仕事がすすまない。
- C4th 担当で、パソコンの不具合があって仕事が進まなかったことがあった。異動してきた先生がログインできず、パソコンを使っての仕事ができずに大変困っておられた。特に本校はペーパーレスが進んでおり、提案なども見れず、本当に困った。
- 仮想デスクトップで資料作成に手間がかかり、結果的に作業能率が下がった。
- 毎年新規採用や転勤して来られた先生方がパソコンが使えるようになるまで日数がかかる。なかなか設定がスムーズに進まず、電話のやり取りなどに時間を要していた。
- ネットに繋がらない、後に解消されたがC4thに繋がりにくい。
- 早くクラウドにしてほしい。
- 設定に多くの時間を取られた。月末などに仮想に繋がらなくなり時間を取られ困った。
- 転勤者がすぐに使えなかった。
- 本年度採用の先生がパソコンに入れないことで、情報担当が対応したが改善されず、しわ寄せが多く先生にきており、年度初めの作業が大幅にできなかった。
- PCの初期設定での不具合への教育委員会の対応が遅く、仕事ができない時間がありました。サポートセンターはかけてもかけても繋がりませんでした。万全なサポート体制が確保できてから、システムの変更をしてほしいと感じました。
- 設定がわからず、周囲に教わりながらだったが、転勤してすぐの方々など困り感は強いかと思いました。詳しい人がいないと成立しない。



②通信環境など学校の状況はどうか？



③今後 ICT をすすめる上で望むこと

- アドバイスをしてくれる支援員の配置。
- 教員のパソコンをタブレットと連携できるパソコンにしてほしい。
- 必要な場面とそうでない場面を考えた上で、授業に使うという、研究をしっかりとやること。
- 万能選手のように、使えばいいという間違いから脱却。本当に必要なときを探る必要がある。
- 情報担当者以外にも分かる言葉で説明された作業の仕方を提示してもらいたい。情報担当に負担が大きい。
- 情報担当としては、タブレットを活用した授業の研修などをしてほしいが、そんな暇はありません…研修で触る機会などを増やすだけで、もっと教員全体の ICT 活用の理解も高まると思う。
- 各校に ICT 操作に長けた人員を配置する。
- 何でも ICT に頼るのではなく、紙で記入することも重要だと思うので、しっかり区別する必要があると思う。
- 教員ではない ICT 専門員を各学校に一人ずつ配置し、PC 関係はその人が全て扱うようにする。
- 我が校には不登校の増員のため全く授業を持たない教員が ICT 担当として整備しているため、ほとんど困っていない。今後もこのような方にいつまでもいてもらいたい。しかし、本人は授業を持たず、このままで本当にいいのか疑問は残ります。
- ICT の研修をもっと進めるべきです。教員よりも生徒の方が上手に使える現状です。教員ももっと活用力をつけないとダメだと思います。

3. その他、職場で困っている実態や市教委に伝えてほしいこと・訴えたいこと

- うちの学校は休日勤務が当たり前になっている。休日に学校に来た教員をみんなの前で褒めて、あたかも当然のように休みをとった者が肩身の狭い思いをするという異常事態。夜遅くまでの勤務も当たり前になっている。誰が遅くまで仕事をするか競っているようだ。
- 再任用ハーフの勤務について、2 週 38 時間 45 分勤務で 75 分の調整がきっかりとれている学校と、そうでない学校がある。例えば、8:25 始まりで 12:15 に 4 時間目終了と同時に勤務終了で、10 分とれたことにしている。
- 再任用ハーフで、教材研究や評価のために空き時間が毎日ほしい。週当たりの担当授業時数の最低ラインと上限の基準を明示してほしい。「生徒指導主事の後補充以外は教材研究の時間はない」と教頭に言われました。
- 指導員さんの人数が少なく、回っていないので増やしてほしい。
- 勤務時間を減らすための手段がなかなか提示されない。「早く帰りましょう」の声かけでは意味がない。管理職がこの業務を減らす！という思い切った学校経営を行わないと現状は変わらない。4 月の残業時間はもうすぐ 100 時間を超えそうです。
- 情報担当が学級経営しながら情報の仕事をするのは難しい。情報の専門の職員を派遣してほしい。
- 子どもの看護休暇を中学生までとれるようにしてほしい。一ヶ月に一度定期通院するため、行く時間も含めるとかなりの時間の年休を使っている。また、行事でもとれるようにしてほしい。勤務地から遠い学校だと、かなりの時間の年休を使うようになり、去年は 30 日近く年休を使うことになった。
- 正規採用を増やし、学校に担任外の人をもっと増やしてほしい。
- 残業時間が多く、それを变だと思っていないのが違和感。残業をすることが児童のためになっていて、美德であるような雰囲気がある。
- 特別教室にも電子黒板が常備されるといいです。
- 病休や介護休などの代わりの人が見つからず、現場の先生や児童にしわ寄せがくる。
- 時期が近くなつての変更や急な通知は、日程を大幅に変更しなければならぬため、見通しをもって情報などを出してほしい。
- 「インクルーシブ」は普通学級に入れ込んだら完了ではありません。一人一人に最適な学習を確保するためには、人的資源が全く足りていません。